

2006年  
8月1日  
No. 1

# さざなみ

〒520-0043  
大津市中央一丁目5-25  
小堀マンション2030号室  
さざなみネット  
(全国金融一般労働組合滋賀支部)  
TEL・FAX 077-522-7868

## 機関紙「さざなみ」発刊に寄せて 読んで役立ち元気になる機関紙に

執行委員長 浦谷貞子

長い梅雨もやっと終わり、厳しい暑さが続きますが、皆様におかれましては、お元気でお仕事にお励みのことと存じます。

このたびさざなみネットの運動方針であります「一人で悩まないで、何かあったら気楽に相談する」「悩みをみんなのものにし、知恵を出し合ってみんなで解決する」「多くの仲間とともに学び、ともに

成長する」ため、機関誌「さざなみ」を発刊することにいたしました。

みなさまの悩み、声、つぶやき、意見、要望、苦情なども掲載させていただき、読んで役立ち元気になる機関紙にしていきたいと思っております。今後とも、ご協力のほどよろしく願いいたします。

## 金融3単産共同2006年全国学習交流集会 「若い力がわれわれの財産～君たちが主役だ～」に参加して

6月17日から18日の2日間、福井県民会館で開催された「金融三単産共同2006年全国学習交流会」に3人で参加させていただきました。

久しぶりの集会で少し緊張気味でした。メインテーマの「若い力がわれわれの財産～君たちが主役だ～」のとおり、若い人が多く圧倒されました。1日しか参加することが出来なくて残念でした。

芝信用金庫女性昇進・昇格差別訴訟の原告であった松尾由美子さんが「労働組合で希望ある明日を」と題して講演されました。長いたたかいを振り返りながら、職場は相変わらず厳しいが、かつては従業員組合の組合員は「企業ファシズム」と呼ばれた暴力や嫌がらせを受け人間視されなかったが、今では従組の人間が信頼され頼りにされるようになってきたと、多くのエピソードを交えながら語っていただ

き、「黙っては何も変わらない、若いって素晴らしい、自分の人生は自分で切り開こう」とみんなに呼びかけられました。

私は「闘うことによって失うものは何もない。闘ったからこそ晴れて職場に戻れた。」という言葉が特に印象に残りました。

私も働き続けてきてよかったと、誇らしげに話せるようになりました。よく悩んだことは共通点ばかりで、比較したらとても恥ずかしいのですが、働く場所があるすばらしさを忘れてはいけないと思います。これからの人生・生活と共通する点が多くあります。自信を持って歩き続けたいと思います。



退職して心の中が  
軽くなった

退職しました。いろんな用事ができ、数行の金融機関へ行きました。

どこの銀行でも同じように、投信の説明を聞かされました。具体的なタインの話が中心でリスクのことはあまりありませんでした。しかしK銀行は来店客が少なかつたためか、ゆったりしていてすごく感じが良く、B銀行は不親切であり良い感じではありませんでした。

証券会社に勤めている知人から国債の勧誘の電話があり、100万円に付10000円の商品券をいまサービスしているとのことでした。

今までは他の金融機関へ行こうと思いませんでしたが、辞めてみると見方が変わってきました。いろんなことを経験するのは勉強になり、今は自由を手に入れて、好きな様に時間を使えるし、人間関係からも開放されて、心の中が

ふわっと軽く  
なつた感じで  
す。

